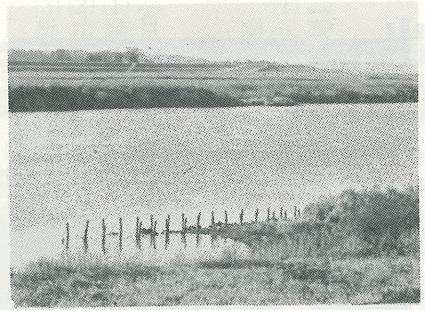




広 報

と ね

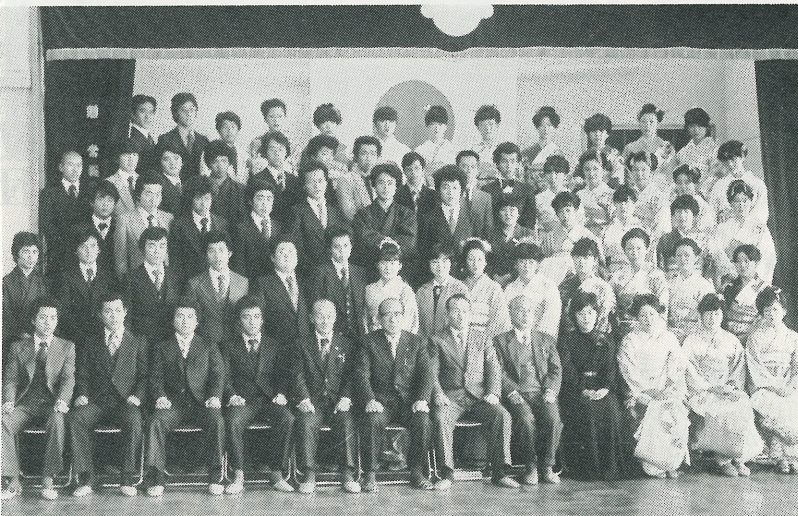
茨城県北相馬郡利根町役場  
昭和54年2月20日発行 No. 179



### 社会人としての 新しいスタート

一月十五日は「成人の日」。今年、昭和三十三年に生まれた男子八十一万人、女子七十七万人が全国で晴れやかに成人式を迎えました。昭和二十三年にスタートし

たこの「国民の祝日」も、今年で三十一回目。社会への「門出を祝う「成人式」はおとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます行事として定着してきました。  
利根町では、今年男子八十九人、女子九十一人が晴れやかにとの仲間入りをしたわけ



### 1月15日は成人の日

成人式を迎えられた皆さんおめでとうございます。  
衷心よりおよろこびを申し上げます。

ですが、皆さんはいま法律上も独立した一人の社会人として新しいスタートを切ったのです。  
独立した社会人として最も重要なものは、選挙権で、これによって国民として国政に地方自治に参加する資格が与えられますし、財産や身分についても今までの法律上の保

護が取り除かれ、独立の社会人としての自らの判断と責任で行動することが要求されてきます。  
今年、さっそく四月に県知事をはじめ町長、町議会議員の選挙が執行されることになっておりますので、一票の重みを十分認識し、棄権などはしないよう心がけましょう。



▲成人式の記念写真です。生涯の思い出の1ページとしていつまでも大切に保存してください。

# むかし町火消し、いま消防団

## 三月七日は消防記念日

火災は、アツという間に私たちの生活の場を焼きつくし最悪の場合には、尊い命まで奪ってしまいます。

さて、その火災が不幸にも発生したとき、常備の消防隊とともに消火に大活躍するのが、われらが町の消防団です。

消防団というところ、その前身である江戸時代の町火消しを思い出しますが、この町火消し誕生までのいきさつはというところ。

江戸時代の儒者、荻生徂徠が江戸の町を火災から守るため、八代将軍吉宗(一六八四

一七四五年)に町組織の火消し組を設けるべきだと進言しました。その結果できた「店火消し」が、組織化への第一歩でした。

その後、この「店火消し」がもとになって享保三年(一七七八年)に町火消しができ、翌年に、いろは四十八組が編成され、本格的な町火消し制度が発足しました。

そのあと、百五十年続いたこの町火消しも、明治維新を境として消防組(明治五年)↓警防団(昭和十四年)↓消防団(昭和二十二年)と改組され、昭和二十三年には、消防組織法が施行されて、現在の消防団へと移り変わってきました。

▲機械、器具の点検も規律正しく行われました。



この消防組織法が施行された三月七日を記念して定められたのが、消防記念日です。当日は全国各地で、防災に功労のあった人たちの表彰など火災予防意識を高める各種行事が行われます。

江戸時代からあった町火消しの伝統——わが町は自分たちの手で守るという精神が、二百年以上たつた今も、なお生きつづけているのです。

三月は火災の多い月。火の元には十分注意しましょう。



▲第1分団及び第3分団の妻女等に対する表彰。

### 出ぞめ式に表彰

町では、新春恒例の消防団出ぞめ式を一月七日、午前八時半から布川小学校で挙行了しました。

この日は、式の途中から冷たい雨が降り出すというあいにくの空模様でしたが、山崎

孝之団長以下三百九名の全団員が参加して、来賓各位の見守る中、人員、姿勢、服装、

機械、器具の点検をはじめ、ポンプ操作の模範演技、功労者の表彰、利根川での放水等てきぱきと行われ、出ぞめ式の行事はとどこおりなく終了いたしました。

なお、表彰されたかたがたを次のとおりご紹介申し上げます。(3)ページをご覧ください。

# 出初式表彰者名簿

(敬称略)

## 【茨城県知事表彰】

- (1) 永年勤続功労章 藤代 七郎
- 副団長 川上 保

- 岡野 克己

## 【日本消防協会会長表彰伝達】

- (1) 精績章 藤代 七郎
- (2) 功績章 山崎 孝之
- (3) 勤続章 藤代 七郎

- 川上 保
- 岡野 克己

## 【茨城県消防協会会長表彰】

- 第19分団

## 【利根町長表彰】

- (1) 初期消火協力者 立木 近藤 忠一
- 布川 関口 長
- 玉村 清
- 久保田孝夫
- 山極 茂男
- 利根浄化センター
- セクター長金子 丈男
- 日本ヘルス工業(株) 利根
- 管理所場長和田 一男
- 消防施設協力者

## (4) 退職消防団員

- 大平 五十嵐あさ
- 羽入 孝照
- 元副団長 渡辺 長治
- 元本部長 大谷 清
- 元分団長 齊藤 守
- 西峰 良助
- 河原崎洋一 木原 繁
- 金子 博之 片岡 秀男
- 糸賀 憲夫 飯塚 義夫
- 田口 義孝 桜井 輝夫

## (5) 妻女に対する感謝状

- 第1分団 渡辺 讓 妻 陽子
- 鈴木 繁 妻 みよ子
- 桜井 勇夫 妻 かず子
- 川上 優 母 つね
- 山崎総一郎 母 よし江
- 大貫 孝雄 母 とく
- 石井久二郎 母 ふち

羽中稻荷神社氏子総代

大平 五十嵐あさ

元副団長 渡辺 長治

元本部長 大谷 清

元分団長 齊藤 守

河原崎洋一 木原 繁

金子 博之 片岡 秀男

糸賀 憲夫 飯塚 義夫

田口 義孝 桜井 輝夫

渡辺 讓 妻 陽子

鈴木 繁 妻 みよ子

桜井 勇夫 妻 かず子

川上 優 母 つね

山崎総一郎 母 よし江

大貫 孝雄 母 とく

石井久二郎 母 ふち

須藤 剛 妻 節子

酒巻 康裕 母 きよ

関口 勝正 母 くめ

小能 保男 母 良子



▲雨の利根川で行われた放水の実際。日曜日だったので、大勢の見物人がつめかけました。



▲消防の重要性をよく認識され、押戸と奥山の区長さんが寄付してくださった横断幕。

## 第3分団

須藤 剛 妻 節子

酒巻 康裕 母 きよ

関口 勝正 母 くめ

小能 保男 母 良子

特別功労章 団長 山崎 孝之

副団長 岡野 克己

【茨城県消防協会北相馬支部長表彰】

(1) 優良分団 第3分団

## (2) 優良団員

功労章 若泉 利夫

本部員 片岡 稔

功績章 高野 征哉

本部員 荒井 助

第1分団長 南 正紘

第3分団長 関口 利夫

第6分団長 会田 瑞穂

## 押戸区長

奥山区長 大野 力夫

(2) 優良分団

第1分団

第14分団

第19分団

優良団員

第1分団

渡辺 讓

須藤 剛

久保田松雄

本谷 明

清宮 昇

土谷 正一

傍 聴 席

一 般 質 問

稲作転作に伴う問題について

A 議員

質問 稲作転作事業によって、当町でも稲作転作が行われ、転作物の一つとして大豆が作付された。

この大豆の種子は、役場で幹旋し、農協を通じて各農家へ配分され、作付けされたと聞いているが、収量がきわめて少なく、種子代金さえ収量が上がらなかつた農家も数多くあるということであった。このことについて町当局は、

どのように考えているのか。種子の選定にも問題があったのではないか。

このようなことでは、町に協力した農家に対して、今後問題が残るのではないか。種子代、肥料代等の保障対策を行うべきだと思いがどうか。今年、県が「茨城県農業災害対策特別措置条例」を発動したので、これを利用すれば町の負担も少なくて済むと



▲ 1 月 10 日、公共下水道の起工式が馬場の集会所で行われました。

思うがどうか。

町長答弁 稲作転作の問題であるが、転作の品種について、いろいろ検討した結果、まず大豆が良いだろうということになり、大豆にしたところ、実は失敗であった。

もちろん品種の選定にも問題があったのだが、対策としては、町では種子代だけでも出そうということでは10アール当たり一、五〇〇円出すことに決めたが、更にそれだけでは済まないで、先般も転作協議会を開催し、県へ再三交渉した結果、県から六百万円、八百万円の金をもらうことになったので、これを転作農家の転作の状態に応じて全部

ねたきり老人対策について

質問 私は昭和五十二年度にねたきり老人への訪問看護制度の実施及び介護手当の支給について二回ほど一般質問を行い、その時は前向きに検討するとの答弁であった。

その後、一年を経過したので結論が出たと思う。あらためてお答えいただきたい。

町長答弁 ねたきり老人の対策については、前向き姿勢で検討中であり、五十四年度からは、次の三点について対策を講じたいと考えておる。

支給したいと考えておる。

町の姿勢は以上のようなわけであるのでご理解願いたい。

石塚産業課長答弁 大豆の収穫が皆無に近かったという点については、産経委員会等で何回か調査した結果、ご質問のとおりであった。

しかし、問題の大豆(品種は革新一号、中生種)については、水海道市の展示圃の場合、普通の収量があったのだから、種子のせいばかりではなく、管理面や例年がない異状気象にも原因はあったと思つた。種子代等の保障対策については、町長が答弁したとおりである。

(1)家族の介護者に対して、看護の方法、保健衛生の知識を更に習得させる方法。

(2)65才以上のねたきり老人または一時的な疾病者でしかも低所得者及び重度身障者には介護者を派遣すること。

(3)看護手当の支給を行うこと。鈴木厚生課長答弁 町長が答弁したとおりであるが、更に補足説明したいと思う。

(1)老人等在宅看護推進事業として、ねたきり老人及び重度身体障害者等の家庭の介護者

を対象として看護の方法、保健衛生の知識等を修得させる目的で昭和五十四年度から実施したい。

(2)介護人派遣事業として、一時的疾病等により日常生活に支障のある老人及び身体障害者に対し、介護人を派遣し、日常生活の世話をサービスする目的で、昭和五十四年度から実施したい。

ただし、対象者は、日常生活に支障のある65才以上の老人及び身体障害者であつて低所得者世帯の者。

また、冠婚葬祭などにより二日、三日と家をあけたいたのだが、残されたねたきり老人が気になるという場合にも同じように介護人を派遣したいと考えている。

(3)介護手当の支給については在宅のねたきり老人を介護する主たる介護者に慰労金を支給し、介護にあたる者の肉体的、精神的労苦に報い、老人扶養意識の高揚を図る目的で65才以上で、すでに六ヶ月以上ねたきりで他の介助によらなければならぬ状態にある者を対象として、昭和五十四年度から実施したい。今年度はとりあえず該当者に一〇、〇〇〇円を県からいただいで支給した。

健康教室

ふえてる大腸のガン

近年胃ガンが減少傾向を示しているのに反して、大腸のガンは肺ガンや膵ガンと共に増加している。食生活の洋風化だけが原因とは思われないが、とにかく欧米と似た傾向をたどっている。厚生省の統計では、昭和五十年の腸ガン死亡者は、一万一千七百三十二名で悪性腫瘍全体の約八%となっている。

胃ガンに対する早期発見の技術は既に世界の最高水準に達しながら実際には今なお切除不能の進行ガンで発見される人の多いことを思うとき、場所柄胃ガンに較べて集団検診に難のある腸ガンの増加はまことにりつ然たるものがあります。

しかしながら、非常に幸いなことに大腸ガンの場合、検査方法と手術の進歩によってある程度進行した場合でさえも胃ガンの手術成績よりもはるかに良いことです。これは胃ガンに比べてリンパ節転移が少ないことにもよりましう。

さて、病気の予防や早期発見にとつて一番たいせつなこととは、その疾病に対する知識と関心を持つことがたいせつです。

大腸のガンは肛門に近い方に多く、国立ガンセンターの統計では直腸とそのすぐ上のS字状結腸とで八一・三%を占めています。

症状は、初期には便秘と下痢が交代しますが、特徴的なのは血便です。肛門からの出血を安易に痔だろうと考えず検査を受けてください。進行してくると便の形が細くなり、便に血を付けることがたいせつです。その他腹がはったり、腹痛、吐き気や時に下腹部に腫瘍を触れることもあります。

レントゲン検査法の進歩、直腸鏡や大腸ファイバ等の内視鏡検査とポリペクトシ等による細胞診等、すぐれた診断技術が開拓されています。しかし、なによりも大腸のガンへの関心を持って早期検診を受けることがたいせつです。

(取手市医師会健康教室)



▲百科事典をみると道祖神は道行く人を守護するばかりでなく、村人の運命をつかさどり、縁結びをおこない、子どもの守り神ともなっているとのこと。

道祖神

道祖神の信仰はいつごろから行われて来たのでしょうか。みちのべの祠にふと眼をやると、写真のようなみごとなふたまた大根がいくつも供えてありました。

いうまでもなく道祖神は、道路の悪霊を防いで、道行く人を守護するという神様ですから、それにあやかつて村人たちは、昔からふたまた大根がでけると、必ずこの祠にお供えしてきたものなのです。

ちなみににはげしく自動車等の行き交う今日、ささやかながらこの風習が残されているのをかいまみて、心の底からこみあげてくる喜びをかみしめながら、私は思わず知らずカメラのシャッターを押し続けたのでした。(大房集会所の入口にて写す)

(広報担当・山田幸夫)

先月号の「社協だより」の中で電気洗濯機を寄付してくださった杉野さんのお名前に誤りがありましたので、次のように訂正しておわびを申し上げます。

正 杉野 梅男  
誤 杉野 梅吉

社協だより

社協に福祉の寄付金

このたび、町の社会福祉協議会に対し、次のような手紙を添えて多額の現金が寄付されました。

利根町社会福祉協議会長

小島栄一郎殿

今般ささやかでありますので、私共日ごろから貯蓄したものでありますので、利根町の福

社協の一端として利用していただければ幸いと存じます。フジタ工事株式会社開発事業本部利根出張所

所長 居島 辰明

南川 淳一

五十嵐和彦

ほか

深く感謝を申し上げ、この寄付金を利根町の社会福祉のため使わせていただきます。

訂正

# 雄 壯 無 比 !! 大 房 の アー ワ ン ト リ

帰る子やアーワントリのかげながく

三十年前、不慮の事故死によつて、やむなく廃止されたアーワントリであるが、今年

は、ここ大房のたんぼにも、本格的な日本一のアーワントリが、ポツネンと姿を現わし、

道行く人や車を止めた。アー

ワントリの話もちだすには

とても抵抗が感じられる。そ

んなせちがない世の中、しか

し、「生むは案ずるより易し。」

とか、昔を知らない青年、若

奥様からの希望は以外に多く、

育成会、そしてありし日にな

つかしむ、昔の子どもたちの熱意、協力、指導のもと、大房部落小学生五十人の手によつて完成されたものである。

昔ながらの一片の妥協も許さない建て方、姿にある長老

は、今の子どもただけではで

きないだろうと、悲しいぼや

きをもらしながらも、しきりに昔をなつかしんでいた。

今年の行事の目的は、子ども

たちの汗の結晶、合作の喜び

そして協力心の養成を目的としたものであつたが、天候、

材料などの事情で苦労した。

来年はもっと計画的なものにしたい。

子ども会のために寄金された

多くの部落のかたがたには

深く感謝している。とは大房

部落子ども育成会会長田口好

子さんの弁。

「子は宝、我が子の愛をどの子にも!!」

今年には国際児童年、子をもつ親同志、このテーマをよく理解しなければならぬ年である。ともあれシメを燃やした残り火で餅を焼けば風邪ひかず、燃え残りの竹で箸を作れば虫歯にならずの言い伝いの通り、子どもに健康な毎日を送らせたものである。

(大房 地協 三城)



▲ 残り火で餅を焼く子どもたちと父兄。昔をしのぶのに恰好の風景でした。

## 啓 蟄 (けいちつ)

蟄虫、即ち冬ごもりの虫の

這い出る意。二十四節氣の一

つ。太陽の黄経が三百四十五

度の時で陰暦二月の節。太陽

暦の三月六日前後 廣辞苑 土の中に冬眠していた虫が

覚めて穴の中から這い出るところを言い、春の季語になつて

います。

このころ大陸方面から南下する寒冷前線の影響で春雷が

鳴ることがあり、これに驚いて虫が穴から飛び出るとい

ことで、虫出しの雷といま

す。実際にはへびやトカゲ、カエルなどが土中から出てく

るのは、わが国では暦より遅れます。

# マラソン二題

○その1

## 新春マラソン大会

一月一日の朝、布川の老人憩いの家の庭をスタートして第一回新春マラソン大会が行われました。

この日は、晴天に恵まれたこともあって、約六十人の町



○その2

## 第二回元朝マラソン

文間育成会主催、蛟欄神社後援による元朝マラソンは、今回が二回目。特別参加の校長先生を迎え、奉賛会、初参加の人々、父兄らの見守るなかを五十人の子どもらが蛟欄神社の朝霜を蹴散らして元気いっぱいにスタート。……かなりおくれてゴール・インした校長先生に「最後までがんばったのはえらい」とは子どもたちのほめ言葉？ 結局、男子は牧田甲希君、女子は星野晴世さんが、それぞれ大きな優勝杯を手にした。また、参加者には、いろいろな参加賞と交通安全の御守りが贈られた。

▲老人憩いの家を  
スターとする初春  
マラソン大会。



▶正月句会の互選風景

## 広報文芸

短歌…加納新田 落合 よし  
新年の神おろがみて誓ひしは  
心正しく生きる一念

なに見ても文化の多きこの宵  
に早や豆まきのさけび声聞こ  
ゆ

## とね俳句会 (二月十四日)

孫の顔ふえてにぎはふ屠蘇気分  
節も無く深夜を帰る小正月  
厨房になれね手つきの三ヶ日  
初詣母の歩並みに日和よく  
臼や杵ほこりかぶりしそのままに  
初荷解く印半纏勢ひをり  
嫁した娘の部屋にも飾る鏡餅  
初電話母ふる里の方言で  
病む母に羽根の音遠く亡父遠し  
子の新居ひび割れ多き鏡餅  
元日や観音像の背の没日  
くせのある字もなつかしき年賀状  
振り袖の返す袂や歌留多取り  
初暦嫁ぐ娘の日も決まりけり  
甲高く孫の手早しカルタ会  
髪結ふて農継ぐ嫁の屠蘇受けし  
樹氷照る碧さに小さき恋育つ  
平穩に生きて行きたく初暦  
退院のよろこびもあり今朝の春  
孫の焼く餅ほんのりと匂ひけり  
去年今年宿直番の我ひとり  
元日や睡びて屠蘇のあたたかさ  
筑波嶺を空に残して初霞  
夜泣蕎麦耳かたむける歌留多取り  
つぎつぎと孫現はれてお年玉  
眼とづれば吾も菩薩や日向ぼこ  
三ヶ日訪ふ人もなく過ぎにけり  
穢れなき足袋の白さや初詣  
達筆と知らざる人の賀状かな  
裸木の先まで染めて初茜

次回は露のたう・節分・当季雑詠  
通じて三句、二月十八日老人憩いの家

- 山田登志
- 高野喜道
- 石川陽子
- 五十嵐英子
- 白井ゆき
- 香取照子
- 佐良土房子
- 多田芳子
- 宮原美鶴子
- 小松みよ
- 山田幸夫
- 長島平衛
- 古田和子
- 海老原和子
- 白井勇太郎
- 羽入つる
- 足立水石
- 高橋直
- 杉山たけお
- 中川やす
- 海老原甚三郎
- 下村慶子
- 黒沢邦子
- 永井のぶ
- 三谷てるを
- 大津蒼崖
- 大津きく女
- 大津まこと
- 長沼霞水
- 井原キン

# 商 工 会 だ よ り

## ◆女性一級建築士誕生

大字布川三二九八番地にお住まいの若泉洋子さん（静男さん長女・写真）は、昨年十



ます。

○議第一 昭和五十二年事業報告並びに収支決算承認の件について  
収入総計  
一、五七五、九七四円  
支出総計  
一、一七七、八八四円

○議第二 昭和五十四年事業計画(案)並びに収支予算(案)について  
予算総額  
一、四九五、八九〇円

○議第三 賃金の改正について  
隣接市町村組合の改正に伴つて役員会に一任する

○議第四 旅行費積立について  
一ヶ月五〇〇円(三ヶ月分  
一、五〇〇円集金)

○議第五 任期満了による役員改選について  
○選考委員により次のかたがたが新役員に任命され承認されました。

組合長 渡辺 長治  
副組合長 大野 吾郎  
大谷 清

会 計 海老原優四郎  
監 事 今井 利和  
角田 利雄  
寺田 公

委員  
○布川地区(3人)  
伊藤 武雄、松浦 清吉  
松本 誠

○文地区(2人)  
永田 久、武藤富士夫

○東文間地区(3人)  
秋元 邦雄、薄井 正義  
古田 清

○文間地区(4人)  
飯田 茂、杉山 英夫  
宮本 治、坪井 忠勇

○議第六 新規加入者八名、名義変更者一名の紹介



新組合長あいさつ、来賓多数の祝辞を受けて総会は無事終了いたしました。

◆確定申告は三月十五日まで  
五十二年分の確定申告と納税は、三月十五日までです。

商工会・青色申告会では、毎年顧問税理士岩田先生と役員で決算書・確定申告書の個別指導により取りまとめをいたしております。

最終指導は三月五日です。中宿集会所で午前十時から午後三時まで。早く申告をすませて肩の荷をおろしましょう。

(利根町商工会事務局)

## 素材型かん詰め好評

スイートコーン、マッシュルーム、まぐろのオイルづけなど味のついていない調理素材型のかん詰めの需要が伸びていますが、商品科学研究所が六人の主婦にこれらのかん詰め料理テストをしてもらったところ「生鮮のものには及ばないが、思っていたよりもおいしい」という結論がでたそうです。

テスト対象は八種であり、里イモ、トマトなどは経済的鶏は明らかに安上がりであったという結論がでています。



## 犬の放し飼いは禁止されています

県下では昨年、幼児が犬に咬殺されるという事故が二件発生しました。これは、飼っている犬の放し飼によるものであります。

飼っている犬は、「茨城県飼犬等管理条例」第三条により、係留しておかなければならぬことになっております。

犬を飼うには、必ず次のことを守ってください。

- 一、登録と予防注射を受けること。
- 二、放し飼いは絶対しないこと。

町勢	(昭和54.2.1現在)
世帯数	2,694
人口	11,118 { 男 5,514 女 5,604 }
発行所	利根町役場
町長	小島栄一
編集	総務課 広報係
電話	(利根) (029768) 2211 (代表)
印刷	竜ヶ崎印刷所